



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 親松 和史 TEL 011-633-1030
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	68,005	6.2	577	1.6	818	0.8	497	△40.1
2023年3月期第1四半期	64,021	5.7	568	76.6	811	59.7	831	28.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,550百万円 (71.0%) 2023年3月期第1四半期 906百万円 (27.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	22.66	—
2023年3月期第1四半期	36.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	144,357	58,718	40.7	2,672.29
2023年3月期	137,937	57,443	41.6	2,614.23

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 58,705百万円 2023年3月期 57,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	129,000	△0.3	1,100	0.0	1,300	△24.3	800	△42.9	36.42
通期	260,000	△0.8	2,600	△1.1	3,100	△20.3	2,000	△26.7	91.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	24,400,000株	2023年3月期	24,400,000株
2024年3月期1Q	2,431,862株	2023年3月期	2,431,862株
2024年3月期1Q	21,968,138株	2023年3月期1Q	22,561,347株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに対する行動制限が解除され、経済活動は緩やかに回復しつつあります。しかし、不安定な国際情勢、原材料価格、およびエネルギーコストの高騰による消費の冷え込み懸念から、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、医薬品卸売事業の株式会社ほくやくでは4月に空知支店の移転新築工事が始まりしました。この建物には、ほくやく空知SPDセンター、竹山空知支店、マルベリーさわかセンター空知が入居し、グループ事業のシナジー効果向上を目指します。稼働は2024年5月を予定しております。

介護事業の株式会社マルベリーでは6月、介護関係者や一般の方に福祉用具や介護ロボットを体験して頂けるよう、新川業務センター(札幌市)内に、常設展示場として「介護のひろば」をオープンいたしました。今後も増える海外からの視察や教育現場からのニーズに対応する予定です。

また4月には、「グループの経営情報」、「主要な活動状況」の共有や「社員の双方向コミュニケーションツール」として電子版社内報をスタートしました。「つなぐ・つながる」「知る」をテーマに、従業員エンゲージメント向上の一つとして取り組んでおります。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は680億5百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は5億77百万円(同1.6%増)、経常利益は8億18百万円(同0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億97百万円(同40.1%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、2023年4月に薬価引き下げが実施されました。5類に移行後も新型コロナウイルス感染拡大防止による営業活動の制限は現在も続いております。また、長期収載品の売上減少に加え、後発医薬品における供給面での混乱が未だに継続している状況です。このような厳しい環境ではありますが、新型コロナ治療薬の売上が増加したことと、抗がん剤など新薬の販売にも積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回る結果となりました。また、利益については、品目ごとのきめ細かい価格管理に取り組んだ結果、売上増加の影響もあり増益となりました。

その結果、売上高は502億35百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は4億13百万円(同20.2%増)となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収まり、手術や検査などの件数は回復傾向となりました。加えて新規開業案件を含む大型機器および一部新型コロナ補正予算等による感染症関連機器の案件もあり、売上につきましては前年同様の結果となりました。利益につきましては4月の診療報酬改定に伴う医療材料の価格交渉などの影響もあり減益となりました。

その結果、売上高は158億3百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は2億61百万円(同16.3%減)となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが「2類相当」から「5類」へ変わった影響もあり、処方箋枚数は前年対比で2.8%増加となっております。売上は、毎年行われる薬価改定の影響による薬剤料のダウンはありましたが、ほぼ計画通りとなりました。利益につきましては薬剤納入価格交渉中のため、前年度に引き続き営業損失となりました。

その結果、売上高は33億21百万円(前年同期比0.3%減)、営業損失は21百万円(前年同期は営業損失50百万円)となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅では、3月に開設した新棟の入居者の募集に取り組みしましたが、営業利益は前年実績を下回る結果となりました。

その結果、売上高は10億3百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は25百万円(同62.4%減)となりました。

(ICT事業)

ICT事業におきましては、医療機関向けビジネスでは、オンライン資格確認関連の前期からの受注残やレセプトコンピュータの入替え案件を堅調に受注いたしました。一般企業向けのビジネスでは、当社パッケージ製品「販盛」の法令対応(インボイス)や、コンピュータ機器の設備投資案件を順調に受注しております。また、グループ会社向けビジネスでも前期からの受注残に加え、新規開発案件を堅調に受注いたしました。

その結果、売上高は4億12百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益は18百万円(同127.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,443億57百万円(前連結会計年度末は1,379億37百万円)となり、64億20百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が29億65百万円、受取手形及び売掛金が19億4百万円、土地16億77百万円、投資有価証券で16億6百万円増加した一方、商品及び製品が9億81百万円減少したことによるものです。

負債は856億39百万円(前連結会計年度末は804億94百万円)となり、51億44百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が38億88百万円、賞与引当金が5億33百万円、繰延税金負債が2億79百万円増加した一方、未払法人税等が1億43百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、587億18百万円(前連結会計年度末は574億43百万円)となり、12億75百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が2億23百万円、その他有価証券評価差額金が10億47百万円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ29億65百万円増加し、209億88百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は49億24百万円(前年同期比61.1%増)となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益8億17百万円(同31.9%減)、減価償却費2億55百万円(同0.6%減)、仕入債務の増加38億88百万円(同142.5%増)、棚卸資産の減少9億78百万円(同306.2%増)、賞与引当金の増加5億33百万円(同4.5%増)、未収入金の減少3億62百万円(同59.2%減)、未払消費税等の増加3億44百万円(前年同期は1億24百万円の減少)などがありましたが、減少要素として売上債権の増加18億88百万円(前年同期比318.4%増)、法人税等の支払額6億52百万円(同21.2%減)があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億14百万円(前年同期は61百万円の獲得)となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得により16億51百万円(前年同期比272.5%増)、投資有価証券の取得による支出65百万円(同2.3%増)によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億44百万円(前年同期比27.7%増)となりました。これは主に配当金の支払2億22百万円(同28.1%増)およびリース債務の返済20百万円(同24.5%増)があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,022	20,988
受取手形及び売掛金	54,990	56,894
商品及び製品	17,388	16,407
仕掛品	1	3
その他	7,914	7,456
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	98,305	101,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,940	9,814
土地	9,914	11,591
建設仮勘定	465	306
その他(純額)	799	830
有形固定資産合計	21,118	22,542
無形固定資産		
のれん	960	931
ソフトウェア	457	451
その他	346	341
無形固定資産合計	1,764	1,724
投資その他の資産		
投資有価証券	15,338	16,944
長期売掛金	94	94
長期貸付金	311	290
繰延税金資産	347	370
退職給付に係る資産	0	0
その他	760	756
貸倒引当金	△104	△101
投資その他の資産合計	16,748	18,354
固定資産合計	39,631	42,622
資産合計	137,937	144,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,915	74,086
電子記録債務	2,505	3,223
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	693	549
賞与引当金	982	1,515
役員賞与引当金	138	29
その他	2,347	3,031
流動負債合計	77,584	82,437
固定負債		
長期借入金	14	14
繰延税金負債	1,457	1,736
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	350	350
長期未払金	396	407
資産除去債務	337	338
その他	232	234
固定負債合計	2,910	3,202
負債合計	80,494	85,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	41,315	41,538
自己株式	△1,709	△1,709
株主資本合計	52,428	52,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,839	6,886
土地再評価差額金	△742	△742
退職給付に係る調整累計額	△95	△90
その他の包括利益累計額合計	5,001	6,053
非支配株主持分	13	13
純資産合計	57,443	58,718
負債純資産合計	137,937	144,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	64,021	68,005
売上原価	59,106	62,944
売上総利益	4,914	5,060
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	267	288
給料及び手当	1,948	1,961
賞与引当金繰入額	435	465
役員賞与引当金繰入額	28	28
退職給付費用	88	98
法定福利費	363	374
賃借料	71	72
その他	1,142	1,192
販売費及び一般管理費合計	4,346	4,483
営業利益	568	577
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	132	142
不動産賃貸料	36	35
持分法による投資利益	34	35
貸倒引当金戻入額	16	0
その他	59	70
営業外収益合計	282	285
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	29	29
遊休資産諸費用	4	6
その他	4	9
営業外費用合計	38	44
経常利益	811	818
特別利益		
投資有価証券売却益	389	—
特別利益合計	389	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,200	817
法人税、住民税及び事業税	578	527
法人税等調整額	△210	△207
法人税等合計	368	319
四半期純利益	831	497
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	831	497

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	831	497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	1,047
退職給付に係る調整額	5	4
その他の包括利益合計	74	1,052
四半期包括利益	906	1,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	1,549
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,200	817
減価償却費	256	255
のれん償却額	27	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△0
受取利息及び受取配当金	△133	△143
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△34	△35
固定資産売却損益(△は益)	0	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△389	—
売上債権の増減額(△は増加)	△451	△1,888
棚卸資産の増減額(△は増加)	240	978
仕入債務の増減額(△は減少)	1,603	3,888
未払消費税等の増減額(△は減少)	△124	344
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	510	533
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△101	△109
未収入金の増減額(△は増加)	889	362
預り金の増減額(△は減少)	269	195
その他	3	194
小計	3,746	5,429
利息及び配当金の受取額	137	147
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△828	△652
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,055	4,924
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△398	△1,623
無形固定資産の取得による支出	△44	△28
投資有価証券の取得による支出	△64	△65
投資有価証券の売却による収入	566	—
貸付金の回収による収入	4	4
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	61	△1,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△173	△222
リース債務の返済による支出	△16	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191	△244
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,925	2,965
現金及び現金同等物の期首残高	21,091	18,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,017	20,988

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	43,996	15,612	3,326	972	96	17	64,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,369	117	2	0	270	1,331	4,092
計	46,365	15,729	3,329	972	367	1,348	68,113
セグメント利益又は損失(△)	344	312	△50	68	8	985	1,667

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,667
セグメント間取引消去	△1,042
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	568

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	47,882	15,659	3,319	1,002	124	16	68,005
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,352	143	2	1	287	1,042	3,830
計	50,235	15,803	3,321	1,003	412	1,059	71,835
セグメント利益又は損失 (△)	413	261	△21	25	18	692	1,390

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,390
セグメント間取引消去	△753
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△35
四半期連結損益計算書の営業利益	577

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。